



神奈川県内における 特殊詐欺発生状況等について



令和5年9月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 特殊詐欺認知状況(暫定値)

	令和5年8月末			前年同期比	
	件数	構成比	被害総額	件数	被害総額
特殊詐欺	1,338	--	約27億2,700万円	+157	+約3億8,800万円
オレオレ詐欺(息子・孫などをかたって現金をだまし取る)	516	38.6%	約13億7,500万円	+47	+約1億9,500万円
架空料金請求詐欺(ウイルス除去費用など、架空の請求をする)	140	10.5%	約4億500万円	+92	+約1億2,400万円
融資保証金詐欺(融資しないのに、手数料などをだまし取る)	5	0.4%	約800万円	+1	+約400万円
還付金詐欺(還付金手続とだまして、ATMへ誘導し振り込ませる)	326	24.4%	約4億5,100万円	-82	-約9,600万円
その他の手口	0	0.0%	0万円	-5	-約3,500万円
キャッシュカード被害の合計	351	26.2%	約4億8,800万円	+104	+約1億9,600万円
預貯金詐欺(キャッシュカード手渡し型) (キャッシュカードを手渡しで受け取ってだまし取る)	181	13.5%	約2億6,700万円	+75	+約1億600万円
キャッシュカード詐欺盗(キャッシュカードすり替え型) (キャッシュカードを封筒に入れさせ、別の封筒とすり替える)	170	12.7%	約2億2,100万円	+29	+約9,000万円

2 情報掲示板

一般の方による特殊詐欺被害防止好事例

事例1

一般の方の積極的な声掛けによる被害防止!

80代女性は、息子を騙る犯人から「会社のお金が入っている鞆を無くした。お金を貸して欲しい。」と電話を受けたことから、現金を用意するため、コンビニに向かいました。コンビニを訪れた利用者は、困った様子でATMを操作している女性を見かけ、手伝うために声を掛けると、「息子がお金を必要としている。」と話したため、詐欺を疑い、手続きを中止させ、女性を自宅に送り届けた後に、警察に通報して被害を防止しました。

事例2

タクシー運転手による被害防止!

80代女性は、息子を騙る犯人から「会社の書類が入った鞆を無くした。保証金を払わなければならない。代わりに現金を用意して欲しい。」と電話を受けたことから、現金を用意するため、タクシーを呼び、銀行に向かいました。車内で女性が、携帯電話で夫に事情を説明していた内容を聞いたタクシー運転手は、詐欺を疑い、銀行に向かわずに警察署へ行き、被害を防止しました。

事例3

スーパー従業員の方々が協力して被害防止!

70代女性は、区役所職員を騙る犯人から「年金の過払い金があります。ATMに行ってください。」と電話を受けたことから、指示されたスーパー店舗内にあるATMに向かいました。スーパーの従業員は、女性が携帯電話で通話しながらATM前に立っていることを不審に思い、他の従業員と協力して声を掛け、被害を防止しました。



皆さんの周りにも、騙されている人がいるかもしれません。
携帯電話で通話しながらATMを操作しているなど、少しでも不審に思った際は、積極的に声を掛けていただくか、警察へ通報をお願いします。

